



2022年1月31日

各位

会社名 メディアスホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 池谷保彦  
 (コード: 3154 東証第一部)  
 問合せ先 取締役経営管理統括本部長 芥川浩之  
 (TEL: 03-6811-2958 ir.m@medius.co.jp)

## 連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年8月11日に公表した2022年6月期の連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 通期業績予想の修正について

##### (1) 2022年6月期通期連結業績予想数値の修正(2021年7月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	212,200	900	1,300	870	39.72
今回修正予想 (B)	219,500	1,900	2,360	1,600	73.06
増減額 (B - A)	7,300	1,000	1,060	730	
増減率 (%)	3.4	111.1	81.5	83.9	
(ご参考) 前期実績 (2021年6月期)	207,758	2,656	3,176	2,065	94.81

(注1) 当社は、2021年9月10日に実施した事後交付による株式報酬としての新株発行により株式数が増加しております。2022年6月期通期連結業績予想における1株当たり当期純利益については、発行済株式数の増加の影響を考慮しております。

(注2) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を当連結会計期間の期首から適用しております。前期実績につきましては、当該会計基準等を遡って適用した後の実績となっております。

##### (2) 修正の理由

当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続き、新型コロナウイルス感染症流行が医療機関の経営状況に影響を及ぼしているものの、感染対策の進展により徐々に医療機関における手術症例数は回復してきており、それに伴い手術室関連製品の販売も増加いたしました。また、感染の再拡大や東京オリンピック開催による需要増加に伴い、新型コロナウイルス感染症の検査に係る試薬等の販売が大きく拡大し、PPE(個人防護具)等の感染対策に関わる製品の販売も好調に推移いたしました。さらには、備品についても第3四半期以降に見込んでいた設備投資の前倒しや新型コロナウイルス感染症対策に係る案件獲得が寄与しており、その結果、上半期における業績が大幅に想定を超え、売上高1,097億円、営業利益16億円、経常利益19億円、親会社株主に帰属する四半期純利益14億円となる見込みであります。なお、上記の業績見込みにつきましては、現時点での集計結果に基づく速報値で

あり、実際の業績とは異なる可能性があります。

当第3四半期以降におきましては、変異株による新型コロナウイルス感染の急激な拡大を受けて、首都圏を中心とした営業活動の制限及び、医療機関における受診抑制や手術の延期が再度進展することで手術関連製品を中心に消耗品の販売が鈍化すること、備品についても当第2四半期に発生した設備投資の前倒しの影響により、売上高及び売上総利益は当初の想定を下回るものと考えております。また、販売費及び一般管理費については、経営統合によって佐野器械㈱が新たに連結組入れとなったこと及び、主要子会社における事務所移転に係る費用が計画外で発生することから当初の想定を超過し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益を押し下げる見通しです。なお、当第4四半期においては、業績予想公表時の計画通り、主要子会社の㈱栗原医療器械店における新物流センターの稼働を予定しており、この建設に係る設備投資関連費用及び、既存の物流センターからの移設費用の発生を見込んでおります。

以上から、下半期においては、当初の想定を下回る見込みではありますが、上半期における販売が好調であったことから通期の売上高が期初予想を上回る見込みとなりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の計画超過が見込まれるものの、売上増加に伴う売上総利益の増加により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても期初予想を上回る見通しとなりましたので修正を行うものです。

## 2. 配当予想の修正について

### (1) 2022年6月期配当予想の修正

基準日	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前回予想 (2021年8月11日公表)	—	14円	14円
今回修正予想	—	19円	19円
当期実績	0円		
(ご参考)前期実績 (2021年6月期)	0円	21円	21円

### (2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益配当につきましては、中・長期にわたる安定的な成長を維持するために必要な内部留保を確保しつつ、その成長に応じた成果の配分を実施することを基本方針とし、配当水準として連結での配当性向20～30%を基準としております。

2022年6月期の配当予想につきましては、上記の方針および業績予想の修正等の状況を勘案し、期末配当を前回予想から5円増配し、1株当たり19円へ修正させていただきます。

※上記に記載した予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上